

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月29日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	下関市	代表者名	下関市長 前田 晋太郎
担当者部署	総合政策部情報政策課	連絡先電話番号	083-231-1452
担当者役職		担当者氏名	
住所	750-8521 山口県下関市南部町1番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	RPA等のICT技術を職員にどのように意識づけさせるかについて、親身に相談にに応じていただき、下関市の状況や問題点も踏まえて、研修・講義にかかわる積極的な提案をしていただいた点。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月26日	13時30分	15時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	下関市本庁舎新館301ミーティングルーム		最寄駅	下関駅
	所在地	山口県下関市南部町1番1号			
	最寄駅からの交通手段	路線バスまたはタクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	AIやIoTといったICT技術を活用・導入した事業を立案、施策に反映できる人材が少ない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員の啓発のため、アドバイザーに講演を開いていただき、ICT技術活用による成果、具体的な施策への活用事例について学ぶ。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	職員に啓発を行うとしたら、どのような職員を対象とした、どのような講演内容が良いのかについてのご意見を頂いた。ICTの活用による業務改善は、既存業務の一部をロボットやシステムに置き換えるというだけではなく、現在人手不足・時間不足などにより十分に実施できていない新事業の立案などに取り組む時間を作ることも目的であるため、そのような事業をこれから行っていく係長職程度の職員を対象とすると良いのではないかと感じている。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	職員に対する、ICT技術の施策反映に関する意識づけをしたいと考えていたが、我々が考えていた事例紹介などとは異なる方向を示していただき、次回派遣となる講演会がより効果のある、下関市にとって意味のあるものに出来るのではないかと感じている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④途中段階であり、具体的な成果物はできていない 次回派遣となる講演会の内容について、方向性を定めることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	講演会の具体的な内容、対象とする課や市内事業者の範囲。今後、アドバイザー及び関係各課と調整し、内容を詰めていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 打合せ段階のため、アンケートは行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	年度内に講演会を行い、職員の啓発を行う。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

